

わくわく橘っ子



人権教育便り
NO. 2
令和4年6月

～橘健康ウォークラリーに参加して～

橘健康ウォークラリー実行委員会主催の「橘健康ウォークラリー」が5月29日に開催されました。橘町の避難場所のチェックポイントとして、橘町民が実際に巡ることで、地震・津波時の避難場所を確認し、防災意識を高めました。

橘小学校児童は、保護者の方と一緒に巡ることで、どこへ逃げたら良いかを実際に確かめたり、話し合ったりすることができました。保護者の皆様、ご協力いただき、ありがとうございました。

「自分の命は自分で守る」 「みんなの命はみんなを守る」

上記の言葉を合い言葉に、ウォークラリーに参加した橘小学校児童5・6年生の防災学習の振り返りをお読みください。防災を自分の問題として真剣に振り返っています。

○僕の家は山に近いので、土砂崩れが心配だったけど、避難場所を確認したことで安心しました。避難所には、たくさんの方が集まってくるので、僕自身でいろいろと準備・対策をしたいと思います。これからも、地域の活動にはできるだけ参加します。

○橘町には、いろいろな避難場所があって、町の人達が災害のためにいろいろ準備をしたり、僕たち町民のために頑張ってくれたりしていることが分かりました。

○ウォークラリーをしたら、避難場所は高い場所にありました。たくさんの方が避難してくるから、妊婦さん・お年寄りの方・障害のある方も、できるだけ早く避難できるように、杖や車いすなども備えておきたいです。私もそんな方を見かけたら、手助けします。

○行くまでは、防災倉庫は2つくらいと思っていたけど、それぞれの場所にちゃんと備えてくださっていて安心しました。

○防災公園や学校の避難場所には、そこへ行く道がいくつかあったり、車道の他に階段などの歩く道もついていたりして、助かる道をいくつも作ってくれているのが分かりました。どこかが土砂でふさがったとしても、「違う道があった。」と思い出すことができると思いました。

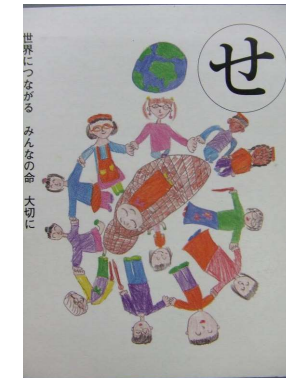
七つのチェックポイントを、家族でウォーキングを楽しみながら巡りました。



人権かるたの紹介



い
いっぱい
ともだち
いるから
がんばれる
長生小



せ
世界につながる
みんなの命
大切に
橘小

人権かるたは、阿南市で約10年前に各小学校の児童が言葉と絵を考え、できました。橘小学校の児童が考えたかるたも選ばれています。

それぞれの読み札の後ろには、当時の学習で学んだことが記されています。下記の2枚のかるたは、子どもたちが日常生活で自分たちの気持ちに特にぴったりくると言ったかるたです。

い みんな元気いっぱいですが、誰かが休むといつものパワーが出ません。勉強も遊びも友達がいるからがんばることができます。(一部抜粋)

せ ご先祖様が一人欠けても、自分は生まれてきません。これからも世界に、そして未来に命をつなげていきましょう。(一部抜粋)

